



Sapporo Gakuin University 学園広報

2001. 6. 22 No.79
編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111
http://www.sgu.ac.jp

大学院臨床心理学研究科 第一種受験資格大学院に 指定される 道内唯一

本学は、財団法人日本臨床心理士資格認定協会に対し「臨床心理士受験資格取得に関する大学院指定」の申請を行っており、また、この度、道内で初めて第一種の指定をいただきました。

大学院第1種指定年度別推移 (校)

	8年度	9年度	10年度	11年度	※12年度
国立	2	1	0	7	1
公立	1	0	0	0	0
私立	7	3	5	3	4

※平成12年度の数字は平成13年5月1日現在 (財)日本臨床心理士資格認定協会資料より作成



ガイダンスにて池田光幸学科長の話に耳を傾ける新生の皆さん

本学は、人文学部に三つの学科として道内では唯一の臨床心理学を開設し、この四月には、その第一期生が同窓会、後援会等関係各位の祝福に迎えられ、入学いたしました。

晴れて第一期生が入学 道内初の臨床心理学科

成十三年度の入学試験は、本格的な広報が年明けにずれ込んだにもかかわらず、心理学系統の人気の高さを反映し、

入学定員九十名に対して九百三十五名が応募する狭き門となりました。それだけに入学した学生の意識は高く、式の翌日に行われたガイダンスでは、不慣れた環境と緊張にもかかわらず各担当者の説明に真剣に耳を傾け、特に履修方法や資格取得にかかわる説明では熱心にメモをとるなど、これからの学生生活に対する強い意欲が溢れ出ていました。

本学の臨床心理学科は、大学院との連携によって臨床心理士としての受験資格を取得することはもちろんですが、それだけではなく、人間が存在するところから起こるさまざまな

カリキュラム 改革

21世紀へのさらなる飛躍
人文学部人間科学科
学生の主体的な関心を重視したカリキュラムへ

本学の人間科学科は一九七七年の発足以来「真に人間尊重の立場に立つ総合的な人間の研究」の追求を掲げてユニークな教育を進めてきました。そして、二十三年間の実績を踏まえさらに社会の要請にこたえる教育を進めるために、二〇〇一年度からの入学生を対象にカリキュラムを改革しました。

社会情報学部社会情報科 より一層の専門性を 追求したカリキュラムへ

社会情報学部では創設以来十年の教育実績と経験を踏まえ、二十一世紀を展望した新たなカリキュラムを編成しました。専門科目は大きく二つの軸、「社会的・全体的視野から問題のありかを探る」と「情報・データ解析等の技術関連科目群」で構成

2002(平成14)年度入学試験日程

大学院	研究科	出願期間	試験日	合格発表日	試験場
	法学研究科法学専攻修士課程	10月9日(火)~10月15日(月)	10月27日(土)	11月7日(水)	本学
	臨床心理学研究科臨床心理学専攻修士課程	9月25日(火)~10月1日(月)	10月13日(土) 10月14日(日)	10月31日(水)	本学
学部	学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	試験場
推薦入試	人文学部英語米文学科 人文学部臨床心理学科 人文学部法律学 法学部第一部商学 法学部第二部商学	11月1日(木)~11月14日(水) 必着	11月28日(水)	12月12日(水)	本青学森
	人文学部人間科学科 経済学部経済学 社会情報学部社会情報学		11月29日(木)		
一般入試	人文学部英語米文学科 人文学部臨床心理学科 人文学部法律学 法学部第一部商学 法学部第二部商学	1月7日(月)~1月26日(土) 必着	2月7日(木)	2月22日(金)	本旭帯青仙東大 学川広森台京阪
	経済学部経済学 社会情報学部第二部商学		2月8日(金)		
一般二期	商学部第二部商学	2月20日(水)~3月1日(金)必着	3月8日(金)	3月13日(水)	本学
大学入試センター利用入試	人文学部人間科学科 人文学部英語米文学科 人文学部臨床心理学科 人文学部法律学 法学部第一部商学 法学部第二部商学	1月7日(月)~1月31日(木) 必着	1月19日(土)	2月22日(金)	大学入試センターが指定する会場
	経済学部経済学 社会情報学部社会情報学	2月20日(水)~3月1日(金) 必着	1月20日(日)	3月13日(水)	
社会人	人文学部英語米文学科 人文学部臨床心理学科 人文学部法律学 法学部第一部商学 法学部第二部商学	11月1日(木)~11月14日(水) 必着	11月28日(水)	12月12日(水)	本青学森
	人文学部人間科学科 経済学部経済学 社会情報学部社会情報学		11月29日(木)		
海外帰国生	人文学部英語米文学科 人文学部臨床心理学科 人文学部法律学 法学部第一部商学	11月1日(木)~11月14日(水) 必着	11月28日(水)	12月12日(水)	本青学森
	人文学部人間科学科 経済学部経済学 社会情報学部社会情報学		11月29日(木)		
外国人	全学科(臨床心理学科及び商学部第二部を除く)	11月1日(木)~11月14日(水)必着	11月28日(水)	12月12日(水)	本学

是非この機会に、札幌学院大学を「見て・聞いて・体験」して下さい。

オープンキャンパス

7月31日(火) 11:00~16:00
10月13日(土) 11:00~16:00

会場 札幌学院大学 50年記念館SGUホール 他
内容 ミニ講義、個別相談会(入試・就職・資格など)、施設見学、クラブ見学、無料学食体験 他
申し込み 自由参加のため事前の申し込みは必要ありません。
※参加者には、大学案内・入試資料のほか、過去問題集やSGUオリジナルグッズをさしあげます。

2001年度入試結果

新設臨床心理学科狭き門

2001(平成13)年度入試結果

一試験別・学科別概要

		2001年4月1日現在				
		志願者	受験者	合格者	競争率	
一般入試	商学	346	339	311	1.1	
	経済学	696	680	408	1.7	
	人間科学	621	611	193	3.2	
	英語英米文学	192	192	115	1.7	
	臨床心理学	800	781	174	4.5	
	法学	430	420	313	1.3	
	社会情報	284	278	253	1.1	
	第二部商学(第一期)	43	42	42	1.0	
	計	3,412	3,343	1,809	2.7	
	一般二期	第二部商学	16	14	14	1.0
センター試験(前期)	商学	209	208	171	1.2	
	経済学	345	340	177	1.9	
	人間科学	244	242	98	2.5	
	英語英米文学	96	96	67	1.4	
	法律	176	174	147	1.2	
	社会情報	204	204	169	1.2	
	計	1,274	1,264	829	1.5	
	センター試験(後期)	商学	43	43	28	1.5
		経済学	42	42	13	3.2
		人間科学	62	62	9	6.9
英語英米文学		13	13	8	1.6	
法律		52	52	13	4.0	
社会情報		41	41	18	2.3	
計		253	253	89	2.8	
推薦入試		商学	91	91	91	1.0
		経済学	126	125	119	1.1
		人間科学	121	121	73	1.7
	英語英米文学	37	37	37	1.0	
	臨床心理学	135	134	32	4.2	
	法律	107	107	107	1.0	
	社会情報	91	91	91	1.0	
	第二部商学	9	8	8	1.0	
	計	717	714	558	1.3	
	総計	商学	689	681	601	1.1
経済学		1,209	1,187	717	1.7	
人間科学		1,048	1,036	373	2.8	
英語英米文学		338	338	227	1.5	
臨床心理学		935	915	206	4.4	
法律		765	753	580	1.3	
社会情報		620	614	531	1.2	
第二部商学		68	64	64	1.0	
計		5,672	5,588	3,299	1.7	

注)競争率=受験者:合格者

		志願者	受験者	合格者	競争率
社会人入試	人間科学	5	5	5	1.0
	英語英米文学	2	2	2	1.0
	法律	1	1	1	1.0
	第二部商学	3	3	3	1.0
計	11	11	11	1.0	
外国人入試	商学	2	2	2	1.0
	経済学	2	1	1	1.0
	人間科学	1	1	1	1.0
	社会情報	1	1	1	1.0
計	6	5	5	1.0	
大学院	法学研究科	12	12	12	1.0
	臨床心理学研究科	33	33	33	3.3
計	45	45	45	2.0	

二〇〇一年度入試の志願者総数は、社会人・外国人留学生を含め五、六八九名(前年度五、六〇八名)でした。これは、前年度と比較すると八

十一名の増加であるが、この中には新設の臨床心理学科の志願者九三五名が含まれてい

ます。試験種別に見ると、一般入試(商学部第二期試験)が三、四二八名(前年度三、二七二名)、大学入試セ

ンター試験利用入試が二、五入試センター試験利用入試を

六四・四対三五・六で前年度

と比較して女子の比率が六・七

ポイントアップして

入試結果の詳細は、別表のとおりです。

国家資格講座合格者比較表

講座名	1999年度		2000年度	
	全国	本学	全国	本学
国内旅行業務取扱主任者講座(国内)	30.5%	47.6% (30名)	33.8%	51.3% (20名)
一般旅行業務取扱主任者講座(海外)	15.9%	46.6% (7名)	11.7%	37.5% (3名)
宅地建物取引主任者講座	15.9%	40.6% (13名)	15.4%	24.1% (7名)
初級システムアドミストラータ講座	37.9%	20.1% (5名)	35.4%	43.8% (14名)

一九九八年度に開設されたエクステンションセンターの受講者数がこの三年間で三、三四〇名を数えました。これは、年度平均で全学生数の約二割が受講したことを示しており、エクステンションセンターが学生の資格取得や能力

3,300名を超える

就職に役立つ

「エクステンション講座」

本年度講座さらに充実

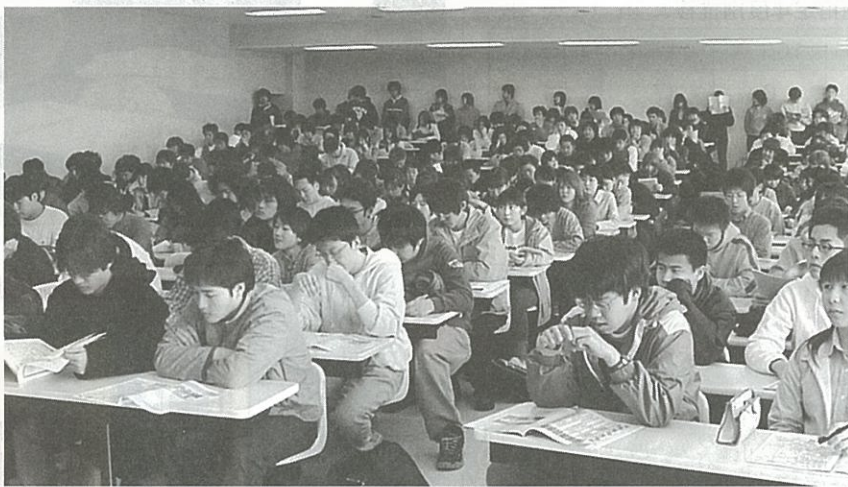
学生に定着

開発の「専門の支援部門」として定着しつつあることを物語っています。

この間、国家公務員はもちろんのこと、旅行業務取り扱

る優れた指導に加えて、意欲ある学生の努力が功を奏した結果といえます。

四年目となる今年度は、公務員対策の一つとして、「一般



2001年度 新生入試/エクステンション講座ガイダンス風景

から本学の会計学研究所が主催して多くの実績を残してきた「簿記講座」を引き継ぐなど十八講座三十五コースのパラエティに富む講座を用意し、受講生の多様な要望に応えるよう充実を図りました。

削減あるいは一般企業の採用手控等依然として厳しい就職環境のなか、学生が自分の目的に合った講座を有効的に活用して自らの付加価値を高め、この難関を乗り越えていくことを大いに期待しています。

教職員人事

平成十三年四月一日付

◎任命

学長

狩野 陽 再任

商学部長

児玉 敏一 新任

経済学部長

稲村 勲 再任

人文学部長

杉山 吉弘 再任

学生部長

西尾 敬義 再任

広報入試部長

皆川 雅章 再任

就職部長

山本 純 新任

図書館長

酒井 恵真 新任

札幌学院大学電子計算機センター長

森田 彦 新任

◎採用

工藤与志文

助教授 教育心理学担当

前東北大学大学院教育学研究科助手



佐々木 冠
助教授 論述・作文担当
前筑波大学文芸・言語学系助手



佐藤 友暁
講師 情報処理基礎担当
東北大学大学院工学研究科機械知能工学専攻博士課程修了



鈴木健太郎
助教授 社会心理学担当
前早稲田大学人間科学部助手



渡邊 慎哉
助教授 コンピュータ基礎担当
前北海道工学部助手



高藤 美雄
総務部情報処理課
札幌学院大学人文学部人間科学科卒業



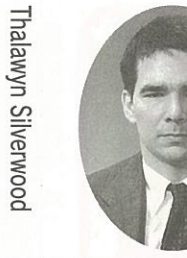
山田 智哉
講師 経済統計学担当
前中央大学理工学部共同研究員



竹花 鮎美
財務部財務課
北星学院大学文学部英文学科卒業



Alan P. Bossaer
講師 英語担当
アストン大学大学院修了



Gregory W. Wheeler
講師 英語担当
コーネル大学大学院修了



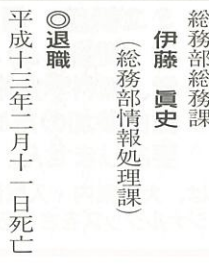
Thalayn Silverwood
講師 英語担当
ペンシルバニア大学大学院修了



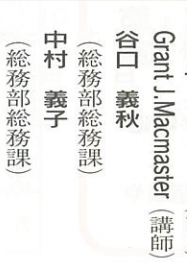
村井 良吉
財務部入試課
前北海道札幌啓成高等学校事務長



天野 勝己
財務部管財課
前北海道企業局手塩川発電所管理事務所事業係長



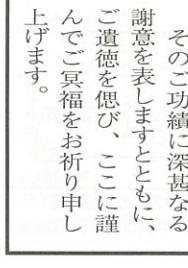
◎異動
総務部総務課(同窓会担当) 渡部 勉 (財務部財務課) 総務部総務課 伊藤 眞史 (総務部情報処理課)



◎昇格
教授 内田 司
教授 神山 義治
教授 川合増太郎
教授 谷澤 弘毅
教授 家田 愛子
助教授 西願 広望
助教授 南隅 基秀



◎昇格
教授 内田 司
教授 神山 義治
教授 川合増太郎
教授 谷澤 弘毅
教授 家田 愛子
助教授 西願 広望
助教授 南隅 基秀



◎昇格
教授 内田 司
教授 神山 義治
教授 川合増太郎
教授 谷澤 弘毅
教授 家田 愛子
助教授 西願 広望
助教授 南隅 基秀

ご冥福を お祈りいたします

法学部教授 利和氏

利和氏は、去る二月十一日、脳出血のため、ご逝去されました。享年五十歳。

同教授は、東北大学大学院法学研究科修士課程、

同大学法学部助手を経て、昭和五十九年、法学部開設と同時に本学に着任されました。

本学においては、主に日本法制史、基礎演習、専門演習を担当され、平成八年五月より平成十一年五月まで評議員に就任されるなど、本学の発展に力を尽くされました。

そのご功績に深甚なる敬意を表しますとともに、ご遺徳を偲び、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

開設2年目 アクティブセンター「コミュニティ・カレッジ」 2001前期講座スタート

本学が札幌都心部にアクティブセンターを開設して満一年が経過しました。市民講座「コミュニティ・カレッジ」は今年目を迎えています。昨年は前・後期を通じて千三百名を超える受講者がありました。講座終了後のアンケート調査でも、満足度の高い声が多数寄せられ、アクティブセンターと市民講座の活動は市民のなかに着実に浸透しつつあります。

二〇〇一年前期の講座の陣容と日程は別表の通りです。今期は、受講料を若干アップしたことで、その影響が懸念されましたが、応募総数は昨年同期を上回る六一四名となりました。構成はリベリターが四〇％強、ニューカマーが六〇％弱、女性が全体の七〇％で、男女比率は昨年とほぼ同じでした。

今期の特徴は、社会の第一線で働く人を対象に、「マネジメントゲームで学ぶ戦略的経営」と「職業社会の心理学」の二講座を設けたことで、期待した通り、受講者は三十代、四十代のサラリーマンが多数を占めました。

●2001年前期「コミュニティ・カレッジ」●

講座名	講師名	日程
現代社会と心理学 (全5回)		
①科学技術と心のひずみ	人文学部教授 池田光幸	5/14(月)
②怒りと攻撃性	人文学部講師 岩壁 茂	5/21(月)
③裁判と心理学	人文学部講師 森 直久	5/28(月)
④顔認知の心理学	社会情報学部教授 沖田庸嵩	6/4(月)
⑤ストレスの心理学	人文学部教授 池田光幸	6/11(月)
産業社会の心理学 (全3回)	ゆうカウンセリング オフィス代表 神田裕子	6/25(月)、7/2(月)、7/9(月)
明治維新と日本の近現代 一大国と小国をめぐって (全6回)	元経済学部教授 田中 彰	6/8~29(金)、7/13(金)、7/27(金)
マネジメントゲームで学ぶ戦略的経営 (全4回)	商学部助教授 河西邦人 商学部講師 原 晴生	7/5~26(木)
海外旅行に役立つ英会話 初級 (全8回)	アクティブセンター講師 J.S. Burrow	5/22~7/10(火) (初級)
海外旅行に役立つ英会話 初～中級 (全8回)	同上	5/23~7/11(水) (初～中級)
基礎から学ぶ 楽しいパソコン講座	アクティブセンター講師 服部摩利子 他	日程略

すでに申込みを締切ったものもありますのでご承知おき下さい。

一方、中高年齢層の受講申し込みが多かったのは、田中彰元教授の「明治維新と日本の近現代」です。昨年後期から始めた「海外旅行に役立つ英会話」は、昨年三クラスを増設した経緯を踏まえ、今期は初級と初～中級の二コース編成となりました。応募者は両コースとも定員の二倍に達し、今期も一クラスずつを増設しました。心理学スタッフによる連続講座は、コミュニティ・カレッジの中核を成してきた看板講座ですが、今期も「現代社会と心理学」の受講希望者は定員五十名のところ、百二十一名に達しました。このため、センターの上階を第一会場として借り受け、定員を上回って受講される方には、第二会場でのテレビ中継による聴講をお願いしています。丁寧な指導と無駄なく受講できることで超人気のパソコン講座は、今期も八コース、十九クラスを募集しましたが、人気を衰えず、今期もほとんどのコースでクラス増設を予定しています。

なお、後期は昨年同様、十月の開講予定ですが、これまでに以上に市民と同窓生のニーズにこたえ、いっそう充実したカリキュラムを提供していきたいと考えています。今後とも皆様のご支援の程よろしくお願いいたします。

平成12年度決算 13年度予算

平成十三年五月二十八日 院大学二四〇回理事会において、平成十二年度決算並びに平成十三年度補正予算が承認されました。

平成12年度決算の概要
平成十二年度決算は、消費収入の増加と消費支出の減少により、三〇五、一五三円の消費収入超過となりました。消費収入は、学生納付金と資産運用収入が減少し、手数料と雑収入などで増加がありました。消費支出では、人件費と経常的経費の節約に努めた事も減少しました。大学進学者が予想以上に早いスピードで急減している中で、入学志願者数や新入生数の確保はより一層難しくなっております。

平成13年度予算の概要
本年度の新規予算及び主要項目は次の通りです。
一 臨床心理学科開設に伴う整備、大学院臨床心理学研究科、心理臨床センターの充実
二 入学志願者の拡大及び進路就職対策への総合的支援
三 広報活動等の充実・強化
四 図書館情報システムの更新
五 学内環境整備の実施
六 ホームページの整備
七 課外活動奨励金制度の新設
八 アクティブセンター及びエクステンションセンターの講座充実等
九 文部科学省の生涯学習推進事業(エル・ネット)への協力参加
十 奨学金、国際交流基金の増額組入
十一 教育環境の基盤整備及び研究条件の改善
①新学科・大学院の図書・雑誌の充実
②シラバスの充実
③教授法開発FDの推進
④図書館の休日開館の実施
⑤学生による授業評価の実施(経済学部)
⑥マルチメディア環境の充実
⑦研究促進奨励金の充実

本年度の就職戦線も、経済的にはまだまだ厳しい状況が続いていますが、二十一世紀の幕開けと同時に雇用関係は順調に推移しています。特に大手企業中心に採用人数を拡大する方向が報道され、多少明るい兆しがあるように思えます。しかし、地方都市を含めて中小企業の採用は依然厳しい状況は免れません。

二〇〇一年就職戦線 新時代に向けて求める人材像 本年度も早くも開始

このよな中で、今年も既に二月頃から合同企業説明会が開始され、三月には企業セミナーと共に一次選考や面接試験が行われています。早い学生は三年次の三月に内定を得るなど、年々エスカレーター式の採用活動の「早期化」そして「長期化」傾向は、本年度も変わらない状況にあります。本学就職課としては、下記の通り三年生の段階から盛りだくさんの行事を企画して進めています。特に最近の傾向として「厳選採用」となっていることから、自己分析・自己理解をしっかりと行い、自分に合った職業選択を基本として進めています。新時代を切り開く人材としての意識を持ち、早めの準備を進めて頂きたいと思っております。

2001年度 就職指導スケジュール 3年次対象

- I. 就職ガイダンス**
1. 第1回就職ガイダンス7月12日(木)
 2. 第2回就職ガイダンス9月27日(木)
 3. 第3回就職ガイダンス10月25日(木)
 4. 第4回就職ガイダンス1月28日(月)
- II. 各種行事**
1. 就職特別講演会10月4日(木)
 2. 業界研究会10月29日(月)~11月6日(火)
 3. 体験報告会11月7日(水)~11月15日(木)
 4. 個人面談11月30日(金)~12月21日(金)
 5. 模擬面接(集団)1月29日(火)
 6. 面接実践(30名予定)1月30日(水)~2月1日(金)
 7. ビデオ映写会2月4日(月)
 8. OB・OG懇談会2月5日(火)~2月7日(木)
 9. 学内合同企業説明会2月14日(木)~3月1日(金)
 10. 個人面談(第2回)3月7日(木)~3月20日(水)
 11. 全就研関係行事予定
就職特別ガイダンス及び就職セミナー2月13日(水)
- III. 各種講座**
1. キャリアフォーカス
 2. スタート
 3. エントリーシート攻略テスト
 4. 情報処理適性試験
 5. SPI対策(試験・開設)
 6. 面接試験及びビマナー講座
 7. ポリッシュアップ講座
 8. リクナビデモンストラーション

2001(平成13)年度札幌学院大学公開講座

講座名	商学部公開講座	人文学部公開講座	法学部公開講座
講義名	商学特別講義A	人間論特殊講義(北海道文化論)	法政特殊講義Ⅶ
テーマ	売れない時代にモノを売れ! ~営業の達人~	北海道の生活文化	21世紀の北海道を考える
概要	消費不況が叫ばれる現在のようないきさつ下でも、顧客の心をつかちつかみ、商品やサービスを売る営業の達人を招き、営業の本質を探る。	地理的・歴史的に本州と異なる北海道の民衆生活を生活自体が文化であるという視点で、歴史学、民俗学、言語学の立場からとらえ、北海道の自立、地域づくりについて考える。	新しい世紀を迎えるの北海道の展望と課題について、経営実務家、行政担当者、研究者を招き、特に地域振興の分野について考える。
開催日	9月4日(火)~10日(月)	9月3日(月)~8日(土)	9月27日(木)~12月13日(木) 毎週木曜日
時間	18:30~20:50	13:10~16:20	13:10~14:40
回数	6回	6回	11回
会場	札幌学院大学	札幌学院大学	札幌学院大学

お申し込み・お問い合わせ 札幌学院大学教務課

消費収支計算書 (単位:千円)

	平成12年度決算	平成13年度予算
学生納付金	4,764,265	5,070,000
手数料	134,890	105,000
寄付金	34,422	27,000
補助金	352,930	338,000
(内経常費補助金)	(338,971)	(328,000)
資産運用収入	115,505	122,000
資産売却差額	13,941	3,500
雑収入	152,533	68,000
帰属収入合計	5,568,486	5,733,500
基本金組入額合計	△716,153	△932,832
消費収入の部 合計(ア)	4,852,333	4,800,668
人件費	2,830,250	2,851,600
(内退職給付引当金繰入額)	(129,466)	(56,600)
教育研究経費	1,276,419	1,369,000
(内減価償却額)	(484,258)	(444,500)
管理経費	410,578	425,300
(内減価償却額)	(85,473)	(82,733)
借入金等利息	29,210	23,450
資産処分差額	508	22,600
徴収不能引当金繰入額	216	200
予備費	0	57,000
消費支出の部 合計(イ)	4,547,181	4,749,15
消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	305,152	51,518
翌年度繰越消費収入超過額	1,433,468	1,484,986

貸借対照表 (単位:千円)

資産の部	本年度末	前年度末	増減
固定資産	16,060,866	15,730,211	330,655
有形固定資産	12,179,588	12,505,608	△326,020
その他の固定資産	3,881,278	3,224,603	656,675
流動資産	7,850,523	7,084,565	765,958
資産の部合計	23,911,389	22,814,776	1,096,613
負債の部			
固定負債	1,753,016	1,817,227	△64,211
流動負債	1,277,645	1,138,127	139,518
負債の部合計	3,030,661	2,955,354	75,307
基本金及び消費収支差額の部			
基本金	19,447,259	18,731,106	716,153
消費収支差額	1,433,469	1,128,316	305,153
合計	20,880,728	19,859,422	1,021,306
消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	23,911,389	22,814,776	1,096,613

第十六回北京国際駅伝大会を終えて

札幌学院大学と 中国人民大学友好チーム

二〇〇一年二月十八日、本学と中国人民大学の学生計六名が、史上初、国際合同チームで中国大陸を走った。

タスキが結んだ 日中友好



大会は午前九時、天安門広場の南寄りからスタート。天候は薄曇り、気温マイナス三度、マイナス五度程度で、肌寒い感じだが、選手にとって

はそれ程の寒さは感じないようだった。沿道はいずれの国も同様、係員が警備しており、至るところから、温かい激励の声援や、拍手が送られる。

課外活動 スタート 奨励金

本学に新しい課外活動支援制度が発足しました。オリピックやワールドカップの日本代表、インカレやインターハイで入賞したスポーツ選手、文化活動分野の全国的土俵で入賞した学生の活躍を称え、今後の奮起を期待しようというものです。

全国区で活躍する学生を応援

学生に奨励金(返還不要)を給付し、その活動と学業の両立をサポートします。給付金は課外活動の実績に応じて一種から四種まで、年間八十万円から四百万円まで、学園後援会を中心と同窓会の協力もいただき年々充実しています。

二十万円が支給されます。一年生採用者は高校時代の実績に基づき、種から三種は四年間、四種は二年間(何れも毎年再審査あり)、二年生から

てきた本学の課外活動支援制度ですが、基盤整備や団体に向けられるものが中心で、個人の結果や実績に応じて直接的に援助する制度が少なく、

競い合ってこそ生まれる 個々の力

我々スキー部は、競技スキー一十一名、基礎スキー九名、マネージャー三名の計二十三名で活動しています。夏場は、競技、基礎共に同じトレーニングをこなし、冬に向けて頑張っています。競技スキーは現在全日本インカレで三部にいますが、今年度は二部昇格という目標を持ち全員で頑張りました。昨年のインカレでは、三部総合十位でしたが、今年度は三部総合七位まで順位を上げました。しかし、二部昇格をするためには、総合三位にならなければなりません。アルペン主体の我が部は、二部昇格するためにはクロスカントリー、ジャンプの選手も必ず必要となり、アルペンでは二部以上の実力を持つていながらも、そのレベルでの戦いが出てくる大きな壁に遮られているのが現状です。また、私事ですが、三月十日



三日から始まった、全日本B級公認第六回朝里川温泉シリーズでは、現在ワールドカップを転戦している早稲田大

学・岡田利修選手がその合同を見てこの大会に出場しており、その第一戦において調整中とはいえ、二本共僅差ではありますが、ワールドカップ選手を抑えて優勝することができました。

父母懇談会
父母と大学との相互交流の場として、本学は、今年度も札幌学院大学後援会と共催で父母懇談会を開催します。各会場とも全体説明会では本学の教育目標と学生生活・就職活動の紹介、成績表の見方の説明があります。引き続き個別面談では、修学状況や、大学での生活等について父母と教員とが懇談します。また、就職相談コーナーを設けて希望者が質問・相談をできるようにし、個別面談を待っている間には大学紹介ビデオを上映します。また、本学では個別懇談会

2001 新入生合宿 オリエンテーション

平成十三年度の新入生合宿オリエンテーション(以下「合宿オリ」)は、新入生ガイダンスの二日目、四月六日(金)の午後から七日(土)の一泊二日の日程で実施されました。今年も定山溪温泉で、商学部第二部、社会情報学部、経済学部はホテル鹿の湯(本館、花もみじ)、人文学部、法学部はホテルミロオーネを会場に、今年度新設された人文学部臨床心理学科を含め新入生は、一九九二名、先輩学生実務委員一四九名、教職員七十七名の合計一、四一八名が参加しました。



仲間とすっかり意気投合の新入生たち

臨床心理学科開設記念
苫小牧市民講座
北見市民講座
講義と音楽の夕べ
日時 2001年7月13日(金) 午後6時開演
場所 苫小牧市文化会館ホール (苫小牧市旭町2丁目8番19号)
講師 池田 光幸 (人文学部教授)
テーマ 「人を理解すること、理解されること」
音楽 「モーツァルト・ピアノの室内楽」
モーツァルト ピアノ・トリオ 第6番 八長調 K.548
第1楽章 アレグロ
第2楽章 アンダンテ・カンタービレ
第3楽章 アレグロ
ピアノ フェリクス・メンデルソーンの四季全曲
オブリビオン
リベル タンゴ
演奏者 ピアノ/林 絵里 ヴァイオリン/漆原啓子
チェロ/土田英順
北見市民講座
日時 2001年10月12日(金) 午後6時開演
場所 北見芸術文化ホール (北見市泉町1丁目2番22号)
講師 中原 睦美 (人文学部講師)
テーマ 「こころの痛みに関わること - その人にとっての援助的接近とは -」
音楽 「土田英順のチェロ名曲選」
シューベルト / アヴェ マリア
エルガー / 愛のあいさつ
バッハ / G線上のアリア
グラナドス / 歌劇「ゴエスカス」より間奏曲
ショパン / ノクターン嬰ハ短調(ピアノ・ソロ)
サンサーンス / 白鳥
演奏者 チェロ/土田英順
ピアノ/林 絵里
入場無料 (入場整理券は、北見市内書店・楽器店等にて9月中旬より取り扱う予定)